

I 事業方針

当協会は「体操」・「新体操」・「トランポリン」・「アクロ体操」・「一般体操」の各種目を統括するとともに、体操全体の振興と普及奨励を図り、依って国民の心身の健全な発展に寄与することを基本方針としている。

昨年度の各種目別世界選手権大会の成績を振り返ってみると、男子体操では、「個人総合・金メダル、種目別で金メダルを含む複数メダル獲得」が目標であった。結果は個人総合で銅メダル、種目別は跳馬とゆかで金メダルと、計3個のメダルを獲得した。体操女子は、「個人総合第8位入賞」という目標に対し、個人総合では、第4位と第6位、「種目別でメダル獲得」という目標に対し、63年ぶりにゆかで金メダルを獲得するなど目標以上の成果を収めた。

新体操においては、「団体でメダル獲得」という目標に対して、団体総合で銅メダル、団体種目別で銀メダルと銅メダル、また、「個人総合第8位入賞」の目標に対して、第5位。更に個人種目別で銅メダル獲得と、全てにおいて素晴らしい躍進を見せ目標以上の成果を収めた。

トランポリン男子は、「団体・個人・シンクロでメダル獲得」という目標に対して、団体で銅メダル獲得、個人は第8位入賞、シンクロは第5位入賞と健闘した。また、女子トランポリンは、「個人入賞・団体・シンクロメダル獲得」という目標に対して、個人・シンクロで銀メダル、団体も第4位と好成績を収めた。特に女子は史上初のメダル獲得という快挙を果たした。

今年度の世界選手権から東京五輪予選が始まるなど、2018年度は「2020東京オリンピック」へのスタートとなる重要な1年となる。体操男女、新体操、トランポリン男女とも下記の目標を掲げ、競技力向上に注力し事業展開を図っていく。特に、男子体操、女子体操、新体操は、それぞれ目標達成を図るとともに、東京五輪団体総合出場権獲得を課題とする。

男子体操	団体総合金メダル、個人総合金メダル、種目別金メダルを含む複数メダル獲得
女子体操	団体総合メダル、個人総合メダル、種目別メダル獲得
新体操	団体総合メダル、種目別メダル、個人総合メダル、種目別メダル獲得
男子トランポリン	個人メダル、シンクロメダル獲得
女子トランポリン	個人複数名の入賞、シンクロメダル獲得

II 公益目的事業の事業内容

1. 国際貢献事業 【定款第4条第1項2号】

(1) 国際機関への人材派遣及び国際会議・国際交流への参加

現在、当協会から国際体操連盟(FIG)に5名、アジア体操連盟(AGU)に4名の役員を送り込んでいる。

それぞれ、総会・理事会・評議員会・技術委員会等への参加により、世界最先端の情報を把握し、各強化本部等へフィードバックするなど国際関係の交流等に貢献している。

また、「2020東京オリンピック」開催に伴い、外務省、スポーツ庁の国際交流事業「スポーツ・フォー・トゥモロー」として、従来より、海外からの役員・コーチ・選手等の積極的な受入合宿等を実施している。

又、外務省事業による海外NF幹部の日本受入、日本人コーチの海外派遣・機械・器具譲渡等も積極的に取り組んでいる。

2. 競技力向上・選手派遣事業 【定款第4条第1項5、7号】

(1) アジア競技大会・ユースオリンピックへの派遣※JOC

種別	期日	大会名	開催場所
体・新・ト	8/20 ~ 8/30	第18回アジア競技大会	インドネシア ジャカルタ
体・新・ト・ア	10/6 ~ 10/18	第3回ユースオリンピック	アルゼンチン ブエノスアイレス

(2) アジア選手権・世界選手権大会への派遣※JGA

種別	期日	大会名	開催場所
体操	10/25 ~ 11/3	第48回世界体操競技選手権大会	カタール ドーハ
新体操	4/29 ~ 5/2	第10回アジア新体操選手権大会	マレーシア クアラルンプール
	9/7 ~ 9/16	第36回世界新体操選手権大会	ブルガリア ソフィア
トランポリン	5/19 ~ 5/20	第5回アジアトランポリン選手権大会	フィリピン マニラ
	11/7 ~ 11/10	第33回世界トランポリン選手権大会	ロシア サンクトペテルブルク
	11/16 ~ 11/18	第26回世界年齢別トランポリン選手権大会	ロシア サンクトペテルブルク
アクロ	4/13 ~ 4/15	第26回世界アクロ体操選手権大会	ベルギー アントワープ

(3) 国際競技会への派遣(主要大会のみ)

種別	期日	大会名	開催場所
体操男子 (一般)	5/21 ~ 5/29	WCオシエク大会	クロアチア オシエク
	5/28 ~ 6/5	WCスロベニア大会	スロベニア コペル
	9/18 ~ 9/25	WCハンガリー大会	ハンガリー ソンバトヘイ
	9/24 ~ 10/2	WCパリ大会	フランス パリ
	10/29 ~ 11/7	スイスカップ&アーサーガンダー	スイス チューリッヒ
	11/19 ~ 11/27	WCコトブス大会	ドイツ コトブス
	2/11 ~ 2/19	WCメルボルン大会	オーストラリア メルボルン
	2/26 ~ 3/4	WCアメリカ大会	アメリカ
	3/11 ~ 3/19	WCバクー大会	アゼルバイジャン バクー
	3/13 ~ 3/19	WCドイツ大会	ドイツ シュツットガルト
	3/13 ~ 3/19	DTBチームカップ	ドイツ シュツットガルト
	3/17 ~ 3/24	WCドーハ大会	カタール ドーハ
	3/4 ~ 3/10	WCイギリス大会	イギリス パーミンガム
	2/26 ~ 3/6	スタンフォード対抗戦	アメリカ カリフォルニア
体操男子 (ジュニア)	11/21 ~ 11/26	フューチャーカップ	オーストリア リンツ
	2/6 ~ 2/11	リュウキナーカップ	アメリカ ダラス
	12/15 ~ 12/21	ボローニンカップ	ロシア モスクワ
	1/15 ~ 1/21	リッキーカップ	アメリカ ヒューストン
体操女子 (一般)	11/19 ~ 11/27	WCコトブス大会(種目別)	ドイツ コトブス
	2/11 ~ 2/18	WCメルボルン大会(種目別)	オーストラリア メルボルン
	2/27 ~ 3/4	WCアメリカ大会(個人総合)	アメリカ
	3/11 ~ 3/19	WCバクー大会(種目別)	アゼルバイジャン バクー
	3/13 ~ 3/19	WCドイツ大会(個人総合)	ドイツ
	3/13 ~ 3/19	DTBチームカップ	ドイツ
	3/17 ~ 3/25	WCドーハ大会(種目別)	カタール ドーハ
	3/20 ~ 3/25	WCイギリス大会(個人総合)	イギリス
体操女子 (ジュニア)	2/12 ~ 2/19	WOGA Classic	アメリカ
	4/22 ~ 4/29	第15回アジアジュニア選手権大会	インドネシア ジャカルタ
	3/5 ~ 3/12	カナダ国際	カナダ
新体操 (一般)	4/1 ~ 4/3	WCソフィア大会	ブルガリア ソフィア
	4/10 ~ 4/17	WCベサロ大会	イタリア ベサロ
	4/16 ~ 5/1	WCバクー大会	アゼルバイジャン バクー
	5/2 ~ 5/8	WCCグアダハラ大会	スペイン グアダハラ
	5/8 ~ 5/15	WCCポルティマオ大会	ポルトガル ポルティマオ
	8/14 ~ 8/21	WCCミンスク大会	ベラルーシ ミンスク
	8/20 ~ 8/28	WCCカザン大会	ロシア カザン
	2/13 ~ 2/19	モスクワグランプリ	ロシア モスクワ
新体操 (ジュニア)	4/27 ~ 5/4	第16回アジアジュニア選手権大会	マレーシア クアラルンプール
	4/4 ~ 4/10	スロベニアインターナショナルトーナメント	スロベニア
トランポリン	4/18 ~ 4/20	2018カナダカップ	カナダ トロント
	4/18 ~ 5/1	2018環太平洋選手権大会	コロンビア メデシン
	4/24 ~ 5/1	WCアローザ大会	スイス アローザ
	5/15 ~ 5/27	WCバクー大会	アゼルバイジャン バクー
	5/21 ~ 6/17	WCブレスシア大会	イタリア ブレスシア
	6/23 ~ 6/24	WCローレ大会	ポルトガル ローレ
	1/4 ~ 1/17	ロシア選手権	ロシア
	4/1 ~ 6/30	第5回アジアジュニア選手権大会	フィリピン マニラ
アクロ	4/1 ~ 4/11	第10回世界年齢別選手権大会	ベルギー アントワープ
	7/3 ~ 7/10	インターナショナルカップ	イタリア
	2019年2月予定	ベガスカップ	アメリカ ラスベガス

(4) 国内・海外合宿等

- ・体操男女・新体操・トランポリン・アクロ各競技種目において、ナショナル強化指定選手を中心としてジュニアを含め、NTCを中核拠点として、必要な時期に国内外合宿を実施する予定。
- ・新体操団体及び個人については、ロシアに拠点を置き、海外合宿を実施する予定。
- ・ジュニアの体操男女・新体操については、JOCの助成事業『日韓交流事業』として日本及び韓国にて合宿を予定している。(体操男女・新体操 計28名の規模:11-12月予定)

3. 講習会・指導者養成・資格認定・検定事業

【定款第4条第1項6,8,10,11,12,14号】

(1) 審判講習会(審判委員会)

種別	研修会・講習会名	期日	開催場所
体操男子	全国代表審判員研修会	H31/2.10～11	味の素NTC
体操女子	全国代表審判員研修会	H31/2.24	味の素NTC
体操男子	1種審判員認定講習会兼カテゴリー試験	H31/1/13～14	江南大学
体操女子	1種審判員認定講習会兼カテゴリー試験	H31/1.26～27	武庫川女子大学
新体操	全国審判研修兼カテゴリー試験	H30/12.15～16	町田市民ホール
	ブロックルール講習会(兵庫)	H31/1.19.～20	武庫川女子大学
	ブロックルール研修会(福岡)	H31/1.26～27	福岡大学
トランポリン	1種審判講習会兼審判研修会	H31/2/23～24	国立スポーツ科学センター

(2) 各種研修会(コーチ育成委員会)

種別	研修会・講習会名	期日	開催場所
体操(男女)	公認コーチ養成講習会(専門科目)	12/22～26	味の素NTC
	公認上級コーチ養成講習会(専門科目)	12/24～26	味の素NTC
新体操	公認コーチ養成講習会(専門科目)	12/18～22	味の素NTC
	公認上級コーチ養成講習会(専門科目)	12/20～22	味の素NTC
トランポリン	公認コーチ養成講習会(専門科目)	12/22～26	味の素NTC・JISS

(3) 器械・器具検定事業

検定種別	加盟社数	
・検定品登録会社検定	8社	
(内訳)	1種	3社
	2種	4社
	3種	1社

4. 競技会等開催事業 [JGA主催]

【定款第4条第1項6,8,9,15,18号】

(1) 国内競技会

種別	期日	大会名	開催場所
体操競技	4/14～	2018FIG WC東京大会	東京 東京体育館
	4/27～4/29	第72回全日本体操個人総合選手権(天皇杯)	東京 東京体育館
	5/19～5/20	第57回NHK杯体操	東京 東京体育館
	6/29～7/1	第72回全日本体操種目別選手権	群馬 高崎アリーナ
	11/10～11/11	第13回全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会	岩手 岩手県営体育館
	11/24～11/25	第72回全日本体操団体選手権	群馬 高崎アリーナ
	12/8～12/9	豊田国際体操競技大会	愛知 豊田市総合体育館
新体操	4/21～4/22	2018新体操日本代表選考会	群馬 高崎アリーナ
	6/1～6/3	第16回全日本新体操エースアマチオンカップ 第0回男子新体操団体選手権大会	群馬 高崎アリーナ
	10/26～10/28	第71回全日本新体操選手権大会	千葉 千葉ポートアリーナ(予定)
	11/16～11/18	第36回全日本ジュニア新体操選手権大会	群馬 高崎アリーナ
トランポリン	5/19～5/20	第5回全日本トランポリン年齢別選手権大会	群馬 ヤマト市民体育館
	6/29～6/30	第33回世界トランポリン選手権大会日本代表選考会	群馬 高崎アリーナ
	7/7～7/8	第5回全日本タンピング・ダブルミニトランポリン年齢別選手権大会	静岡 静岡産業大学
	7/27～7/28	第4回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会	茨城 取手グリーンスポーツセンター
	8/4～8/5	2018FIG トランポリンWC前橋大会	群馬 ヤマト市民体育館
	10/20～10/21	第55回全日本トランポリン選手権大会	福岡 北九州市立総合体育館
	3/2～3/3	第16回全日本タンピング・ダブルミニトランポリン選手権大会	静岡 静岡産業大学
一般体操	7/1～	2018日本体操祭	東京 駒沢体育館
アクロ	11月予定	第29回全日本アクロ体操選手権大会	調整

(2) 地域関連事業

- ・地域委員会をベースに都道府県体操協会およびブロック体操協会と連動し、体操の底辺拡大に向けて地道に活動を推進中。各地域での体操クラブの民営化、官民一体となった普及活動等のイノベーションの進化が進みつつある。
- ・トランポリンの「2019茨城国体」正式種目決定を受けて都道府県の競技人口拡大を積極的に推進する。
- ・「2020東京オリンピック」事前調整合宿の誘致活動は以前よりスタートしており、既に海外チームの合宿がスタートしている自治体もある。これらの活動を通してスポーツの友好を深めるとともに地域の体操の活性化に向け努力していく。

(3) 体操スクール事業

- ・「2020東京オリンピック」の関連で霞ヶ丘体育館の使用が不可となることに伴い代替施設(青少年センター他)を検討。
- ・会員数約300名、2歳より中学生まで年齢別のクラス編成とし、3学期制で運営。
- ・課外事業として、キャンプ教室、体操教室、水泳教室、スキー教室、幼児遠足等を実施する。
- ・オリンピックとの交流を通じて組織拡大へのアプローチを図る。

5. 顕彰事業 【定款第4条第1項13号】

- ・毎年度、次の内容を『協会三賞』として、年度末に表彰を行なう。

名 称	顕彰内容
平沼賞	長年にわたり、極めて顕著な功績のあった者及びオリンピック大会、世界選手権大会の個人総合で優勝した者に贈る。
功労賞	長年にわたり、本会の発展に尽くし、著しく功績のあった者に贈る、
栄光賞	国際競技会または本会主催の競技会で特に優秀な成績を収めた者に贈る。

- ・年間優秀選手等表彰
最優秀選手賞、優秀選手賞、優秀指導者賞および特別賞を授与する。

III 収益事業

1. マーケティング事業 【定款第4条第1項17項】

財政基盤の確立を図るために行う様々なマーケティング活動を展開する。

- ① オフィシャルサプライヤー契約
- ② オフィシャルパートナー契約
- ③ オフィシャルスポンサー契約
- ④ その他

2. 出版物販売事業 【定款第4条第1項16項】

各種競技の採点規則をはじめ、下記の出版物等を刊行・販売を行なう。

- ① 体操競技: 男女体操競技採点規則、男女ジュニアトレーニングマニュアル他
- ② 新体操: 男女採点規則、新体操教本、ステップアップ新体操他
- ③ トランポリン採点規則、トランポリンコーチ教本、公認トランポリン普及指導員教本
- ④ その他 審判バッジ、協会カレンダー、新体操大会DVD他

以上

収支予算書の事業別内訳表

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計			法人会計	合計
		収1	収2	小計		
管理費					31,589,500	31,589,500
給料手当					14,550,000	14,550,000
福利厚生費					2,205,000	2,205,000
会議費					3,380,000	3,380,000
旅費交通費					337,500	337,500
通信運搬費					1,250,000	1,250,000
交際費					300,000	300,000
什器備品費						0
消耗品費					1,655,000	1,655,000
購読費					97,000	97,000
印刷製本費					7,000	7,000
水道光熱費					18,000	18,000
賃借料					4,140,000	4,140,000
保険料					100,000	100,000
租税公課					105,000	105,000
会費					460,000	460,000
支払手数料					60,000	60,000
支払報酬					2,700,000	2,700,000
雑費					225,000	225,000
経常費用計	1,172,573,000	39,477,000	20,439,500	59,916,500	31,589,500	1,264,079,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 279,283,000	452,283,000	△ 3,939,500	448,343,500	△ 31,589,500	137,471,000
基本財産評価損益等				0		0
特定資産評価損益等				0		0
投資有価証券評価損益等				0		0
評価損益等計	0	0		0	0	0
当期経常増減額	△ 279,283,000	452,283,000	△ 3,939,500	448,343,500	△ 31,589,500	137,471,000
2. 経常外増減の部						0
(1) 経常外収益						0
経常外収益計	0	0		0	0	0
(2) 経常外費用						0
経常外費用計	0	0		0	0	0
当期経常外増減額	0	0		0	0	0
他会計振替額	379,000,000	△ 379,000,000		△ 379,000,000		0
当期一般正味財産増減額	99,717,000	73,283,000	△ 3,939,500	69,343,500	△ 31,589,500	137,471,000
一般正味財産期首残高	209,975,731	403,448,429	△ 5,986,812	397,461,617	△ 147,921,865	459,515,483
一般正味財産期末残高	309,692,731	476,731,429	△ 9,926,312	466,805,117	△ 179,511,365	596,986,483
II 指定正味財産増減の部						0
受取補助金等				0		0
一般正味財産への振替額				0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0	0	0
指定正味財産期首残高				0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0	0	0
III 正味財産期末残高	309,692,731	476,731,429	△ 9,926,312	466,805,117	△ 179,511,365	596,986,483